

北朝鮮による日本人拉致問題に対する理解を深めるための広報啓発を 推進する決議

北朝鮮による日本人拉致問題は、我が国の主権及び国民の生命と安全に関わる極めて重要な問題であり、その早期解決のためには、国民世論の一層の喚起が不可欠である。

とりわけ、若い世代においては、拉致問題が過去の出来事ではなく、現在もなお進行形の重大な人権侵害であるとの認識を深めることが重要である。

拉致問題担当大臣及び文部科学大臣は、令和5年4月に「北朝鮮当局による拉致問題に関する映像作品の活用促進について（依頼）」を発出し、学校等において、拉致問題に関する映像作品等をこれまで以上に活用するよう要請している。

学校等においては、アニメ「めぐみ」、映画「めぐみー引き裂かれた家族の30年」、
「拉致被害者御家族ビデオメッセージ～必ず取り戻す！愛する家族へ～」、拉致問題
解説動画「あの日、僕は拉致問題を知った」、電子漫画「母が拉致された時僕は
まだ一歳だった」、子ども向けパンフレット「たいせつな人を取り戻すために」などの
活用や、「北朝鮮人権侵害問題啓発週間作文コンクール」への参加等を通じて、拉致
問題に対する理解を促進していくことが求められている。

よって、日野町議会は、北朝鮮による日本人拉致問題に対する理解を一層深めるための広報啓発を積極的に推進するとともに、国及び関係機関が連携し、拉致問題の早期解決に向けた取組が一層充実されるよう強く求めるものである。

以上、決議する。

令和8年3月23日

滋賀県蒲生郡日野町議会